



3階大活字本コーナー

あゆち

愛知県図書館報

NO.14
2013.12

特集 ● バリアフリー

～誰もが使える図書館～

誰もがいきいきと暮らせる社会を目指して、バリアフリーやユニバーサルデザインという概念が生まれ、発展してきました。今号では、愛知県図書館のバリアフリーと、バリアフリーについて知る資料を紹介します。



愛知県図書館のバリアフリー

図書館はさまざまな人が利用する施設です。障害のある方、高齢者、妊娠中の方や小さなお子さま連れの方など、誰もが使える図書館にするためには、バリアフリーやユニバーサルデザインの視点は欠かせません。

バリアフリーとユニバーサルデザイン

- バリアフリーとは、障害者のための物理的な障壁を取り除くことを指しますが、今日では物理的な障壁だけでなく、制度や、心理、情報のバリアフリーなど障害者を取り巻く生活全般に関連する概念と考えられています。
- ユニバーサルデザインは、バリアフリーを発展させた考え方で、障害のある人を特別に対象とするのではなく、すべての人に使いやすい製品、環境、情報のデザインを目指すものです。



出典：『社会福祉用語辞典 第9版』ミネルヴァ書房（2013）

愛知県図書館の施設には、バリアフリー、ユニバーサルデザインが取り入れられています。また、目や耳の不自由な方の読書を助ける機器や資料も揃えています。

閲覧フロア



移動の障害となる段差をなくしたフラット構造です。

書架



車椅子で通行できるよう、書架をゆったりと配置しています。

多機能トイレ



オストメイト対応設備（1,3F）、オムツ交換台、幼児イス、子供用便座を設置しています。

エレベーター



低位置に操作盤と手すりを設置しています。

点字案内板



目の不自由な方のための点字サインを組み入れた案内板です。

駐車場



車椅子での乗降可能な専用スペースを設けています。

読書を助ける資料・機器



拡大読書器(3F)

- **拡大読書器【3F】** モニター画面に文字などを大きく映し出すことができます。そのほかに、各階カウンターに拡大鏡、老眼鏡も備えています。
- **筆談器** 各階カウンターに、聞こえが不自由なことを示す「耳マーク」の表示板を設置し、筆談による対応をしています。筆談器も備えていますのでご利用ください。
- **大活字本【3F】** 小さな活字が読みにくい方のために、通常より字を大きく印刷した大活字本を約2,000冊所蔵しています。
- **朗読CD【1F AV室】** 音楽だけでなく、文学の朗読や、文化人の講演、健康についてなどのCDも約800点を所蔵しています。愛知・岐阜・三重の図書館(対応館はお尋ねください)を通じた貸出も行っています。



『平成大家族』(大活字本シリーズ)上・下 中島京子/著 埼玉福祉会(2012)

たとえばこんな資料があります

CD 『源氏物語』第一集～七集 円地文子/訳 竹下景子/朗読

来館できない方へのサービス

お近くの図書館を通じたサービスとして、次のようなものがあります。

- **協力貸出** お近くの図書館まで愛知県図書館の本をお届けするサービスです。
- **遠隔地返却制度** 愛知県内で、当館までお越しいただくのに時間や交通費が特に多くかかる地域の方を対象に、愛知県図書館で借りた資料を、お近くの図書館などで返却できるサービスです。対象館は東三河全域と、西三河・知多地域の一部です。
- **郵送複写** 著作権の範囲内で、所蔵資料の複写物をお送りします(有料)。

● レファレンス(調べもの相談)

電話・郵便(手紙やはがき)・FAX・電子メールでも受け付けています。お気軽にご相談ください。

* 調査相談専用電話 (052)212-3200 FAX (052)212-3674
メールレファレンスはホームページからお申し込みください。



● コラム ● 点字ブロックの役割

駅のホームや道路、建物の中で、凸凹のある黄色いブロックが線状に並んでいるのを見かけます。いわゆる「点字ブロック」です。このブロックは視覚障害者が安全に歩くためのもので、視覚障害者は足の裏や白杖で確かめながら、これを頼りに歩いています。

もし、この上に自転車や車、荷物などが置かれていたら…気づかずにぶつかって怪我をしてしまうこともあります。街を歩くと、点字ブロックの上に停めてある自転車などを見かけますが、これは視覚障害者にとってはとても怖いことです。ぜひ身近な駅や道路で点字ブロックを意識して生活してみてください。



地下鉄丸の内駅のホームから愛知県図書館の中まで点字ブロックで繋がっています。

資料の利用や図書館の利用に何らかの障害のある方々のために、愛知県図書館が行っているサービスを紹介します。

視覚障害者資料室 (1F 10:00~18:00)

視覚障害をお持ちの方や、視覚による表現の認識に障害のある方(識字障害(ディスレクシア)の方等)にご利用いただけます。

対面朗読サービスや録音図書(カセットテープ、デージー)・点字図書の貸出および録音図書の製作等を行っています。各種音声情報機器もご用意しています。

※愛知県図書館の利用カードをお持ちの場合でも、別途当室の利用登録が必要です。詳しくは、当室のホームページをご覧ください。

対面朗読室



図書館の資料やお手持ちの本をお読みします。

録音図書・点字図書



障害の内容によっては郵送でもお届けします。

音声情報コーナー



音声読み上げ機能のついたパソコンなどがあります。

録音図書の作り方

録音図書を製作することを「音訳」とも言います。朗読協力員養成講座(不定期開催)を受講し、当館のボランティアとして登録されている朗読協力員の方々に活躍していただいています。

①下読み(調査)

どんなに上手に読まれていても、漢字の読み方や発音を誤って読んでしまうと情報が正確に伝わりません。人名、地名、専門用語など、図書館にある辞書やインターネット等を使って根気よく読み方を調べます。また、図表がある場合は、それをどのように言葉で伝えるかを考えます。

②録音・・・録音室で録音します。注やルビなども、様々な音訳技術を駆使して表現します。

③校正・・・録音した人とは別の人が読み間違え等のチェックをします。

④校正(二校)・・・更に職員がチェックをします。

⑤録音(修正)・・・校正でチェックされた箇所を修正します。

⑥編集・・・デジタル録音された音声をデージー形式に編集します。

⑦装備・・・デージー化されたデータをCD-ROMにして完成です。

完成までに約1~3ヶ月。専門書等では半年以上かかることもあります。



録音室

★「録音図書」とは?・・・図書等の文字情報等を、一定の基準に従ってできる限り忠実に音声化した録音物です。

★「デージー(DAISY)」とは?・・・Digital Accessible Information Systemの略で、デジタル録音図書の国際標準規格です。

録音図書や点字図書の製作には大変な労力がかかり、1つの図書館で利用者のリクエスト全てに対応するのは不可能です。そのため、全国の図書館等で協力して音訳・点訳を行い、完成した録音図書や点字図書を互いに貸借しあうことでお応えしています。

<サピエ>とは? <https://www.sapie.or.jp/>

全国の視覚障害者情報提供施設(点字図書館)や公共図書館、ボランティア団体が加盟し、視覚障害者等の方々へ各種情報を提供するネットワークです。録音図書・点字図書の全国総合目録として活用されるほか、点字やデージーのデータをダウンロードして利用することもできます。(※当室の利用登録をされている方は、個人でも会員になれます。詳しくはお問い合わせください。)

・・・たとえばこんな点字図書もあります!

●『季節の料理レシピ集』・・・大活字併記、音声コード付。

点字と同じ内容が墨字(印刷文字)でも書かれているので、視覚障害をお持ちの方と点字の読めない晴眼者(見える方)が、一緒に読みながら料理を楽しむことができます。また、各ページに音声コードが付いているので、活字文書読み上げ装置(テルミー等)があれば、内容を合成音声で聞くことも可能です。

ハイフリッドでユニバーサル

郵送貸出 心身に障害のある方へのサービス

心身に重度の障害があってご来館が困難な方のために、郵送による貸出サービスを行っています。県内に在住の方で、身体障害者手帳や療育手帳などをお持ちの方(障害の等級により対象となります)や、介護保険被保険者証の要介護状態区分が「5」の方などが対象となります。詳しくはホームページの「障害のある方へのサービス-郵送貸出のご案内」をご覧ください。

こんな資料もあります

図書館には障害のある方に役立ついろいろな資料があります!

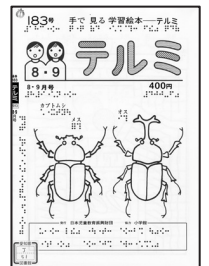
●雑誌コーナー[2F] 障害者のための就職情報誌があります。

『サーナ』(Z366) 『クローバー』(Z369) 『チェアウォーカーWaWaWa』(Z369)など *いずれも1年保存。書名の後の()内は分類番号 Z=雑誌

●児童図書室[1F] 点字絵本など触ってわかる絵本、児童向け点字雑誌などがあります。

『テルミ:手で見る学習絵本』『てんじつきさわるえほん』シリーズなど

●AV室[1F] 日本語字幕付のDVDがあります。手話付き、視覚障害者対応音声ガイド入りのDVDなども数点あります。



『テルミ:手で見る学習絵本』日本児童教育振興財団発行

バリアフリーを知る

バリアフリーやユニバーサルデザインについて、全般的な解説から各方面での取り組み、暮らしに役立つ知識など、さまざまな資料が出版されています。

バリアフリーってなんだろう

●『みんなでつくるバリアフリー』

(テコ J369)【3F ティーンズ】

岩波ジュニア新書の1冊。
バリアフリーについてわかりやすくまとめられています。



『バリアフリーからユニバーサル社会へ』
創英社(2011)

●『バリアフリーからユニバーサル社会へ』

(369.27)【4F】

バリアフリーの進展からユニバーサル社会形成への歩みと今後の課題を考察。

交通・環境のバリアフリー

●『道のユニバーサルデザイン 誰だって街を歩きたい』

(514.1)【4F】

●『愛知県 人にやさしい街づくり 人にやさしい街づくりの推進に関する条例の解説 改訂3版』

(A369.1)【3F 地域】

平成25年3月の条例施行規則改正にともない改訂出版。愛知県の取り組みについての解説書です。



『愛知県 人にやさしい街づくり 改訂3版』大成出版社(2013)

住まい・建築のバリアフリー

●『心地よいバリアフリー住宅をデザインする方法』

(527.1)【4F】

部屋別・疾病別に詳細図とイラストで設計のポイントを解説。



『心地よいバリアフリー住宅をデザインする方法』エクスマレッジ(2012)

●『介護保険の住宅改修マニュアル』

(527.1)【4F】

住宅改修費支給制度のしくみや申請方法、事例、Q&Aなど。

法律・規格

●『Q&A バリアフリー新法 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の解説』

(681.2)【4F】

2006年12月に施行された法律の解説書です。



『Q&A バリアフリー新法』ぎょうせい(2007)

●『JISハンドブック 高齢者・障害者等 アクセシブルデザイン 2013』

(カキ 509.13)【4F 規格】

* 書名の後の()内は分類番号で、資料の場所を表します。

他にもこんな本があります

●『会議・プレゼンテーションのバリアフリー』(369.27)【4F】

●『色のユニバーサルデザイン』(501.83)【4F】

●『Web アクセシビリティ完全ガイド』(547.48)【4F】

●『バリアフリーTRAVEL DATABOOK』甲信越静・北陸・東海編/関西編/中国・四国編・九州編 (291.09)【3F】

●『出版のユニバーサルデザインを考える』(020.4)【3F】



『色のユニバーサルデザイン』グラフィック社(2012)

障害について知る

- 『障害理解 心のバリアフリーの理論と実践』(369.27)【4F】
一般の人から教育等の専門職に関わる人まで、段階的に理解が進むよう、それぞれの障害の専門家がわかりやすく解説しています。
- 『ブックナビ視覚障害がわかる本 273 冊』(369.27)【4F】
自伝、情報・コミュニケーション、盲導犬、文学などの分野別に、視覚障害者に関する本を紹介しています。



『障害理解』誠信書房(2005)

サポート方法を知る



『実用介護事典 改訂新版』講談社(2013)

- 『イラスト版からだに障害のある人へのサポート』(369.27)【4F】
子どもと一緒に学ぶことを主眼とし、豊富な絵や図入りでわかりやすく解説されています。
- 『実用介護事典 改訂新版』(369.03)【4F】
専門家はもちろん、介護される人、介護する家族にも役立つ情報を、読みものとしても楽しめるように編成。
- 『見えない人こそよくみえる 視覚障害者ガイドヘルプの手引き』(369.27)【4F】
- 『これであなたも車いす介助のプロに!』(369.27)【4F】

福祉の資格・職業

- 『介護・福祉の仕事がわかる本』(ヒモ 369.17)【4Fビジネス】
介護に携わる人たちの様々な資格、職場、仕事の内容を解説。
- 『社会福祉士・精神保健福祉士になるには』(ヒモ 369.17)【4Fビジネス】
社会福祉士をめざす方のためのガイドブック。実際の社会福祉士さん達への取材も読むことができます。
- 『視覚障害者にかかわるしごと事典』(ヒモ 369.27)【4Fビジネス】

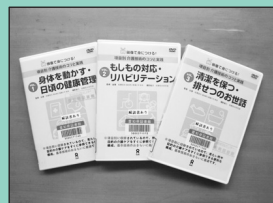
* 書名の後の()内は分類番号で、資料の場所を表します。「ヒモ」はビジネス情報コーナー職業・資格の本です。



『介護・福祉の仕事がわかる本』日本実業出版社(2012)

雑誌・DVDで調べる

- 『ふれあいケア』(Z369)【2F 雑誌】
介護の現場に携わる人のための情報誌。豊富な実践事例とともに、実践に役立つ技術や知識を掲載しています。定期刊行される雑誌ならではの最新の福祉情報が分かります。
- DVD 『項目別介護技術のコツと実践』VOL.1~3【1F AV 室】
VOL1:「身体を動かす・日頃の健康管理」
VOL2:「もしもの対応・リハビリテーション」
VOL3:「清潔を保つ・排せつのお世話」



『項目別介護技術のコツと実践』VOL.1~3 アスク(2010)

●●●●● バリアフリーに関わるこんなお問い合わせがありました ●●●●●

*お問い合わせは、カウンターや電話、郵便、FAX、電子メールで受け付けています。

Q. 道路や駅のホームなどにある身障者用のブロックを何というのか。

よく耳にする「点字ブロック」という言葉は、『日本大百科全書 16』（小学館 1987）の項目にありましたが、『愛知県 人にやさしい街づくり整備指針』（愛知県民生部障害援護課 1994）、『道路用語辞典』（丸善 1997）といった専門書には「視覚障害者誘導用ブロック」という名称で載っていました。JIS 規格に記載の名称も同じです。



Q. 『チェアウォーカーWaWaWa』の創刊号に載っている、ミニスカート姿の車椅子の人の写真と記事が見たい。



『チェアウォーカーWaWaWa』の公式ホームページにバックナンバーの目次が掲載されており、創刊準備号に「ファッションでは負けたくない～ミニスカートへのチャレンジ～」という記事があることが分かりましたが、愛知県図書館には、この雑誌の該当号は所蔵がありません。外出や電話が困難な方からの依頼でしたので、自宅から郵送で文献複写を申し込める所蔵館を探して案内しました。

Q. 障害者の労働支援に関する資料が見たい。

厚生労働省のホームページに、相談・支援機関の紹介を始めた情報ページがあります（<http://www.mhlw.go.jp>）。当館には『就業支援ハンドブック』（高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センター 2013）など、「就労支援」「障害者雇用」をテーマとする図書資料がありました。また、日本福祉大学付属図書館では『職業リハビリテーション』などの専門雑誌を所蔵しており、学外者の利用も可能なのであわせて紹介しました。（※ただし、同図書館を利用できるのは、調査研究を目的とした方のみです。）

- 開館時間 火～金 10時～20時（児童図書室・視覚障害者資料室は10時～18時）
土・日・祝日 10時～18時
 - 休館日 ・月、毎月第2木（その日が祝日（振替休日）に当たるときは開館、次の平日に休館）
・年末年始（12月28日～1月4日）
・館内整理のための休館（平成26年は2月26日～3月13日）
 - 交通案内 地下鉄 鶴舞線又は桜通線「丸の内」下車 8番出口から徒歩5分
市バス 幹名駅1系統・名駅14系統 「愛知県図書館」下車徒歩3分
- ※有料駐車場はありますが、台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
（最初の30分までは無料。以後30分ごとに100円。最高1,000円まで）

あゆち 第14号

平成25年12月20日発行

編集・発行 愛知県図書館

〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9-3

電話 (052)212-2323(代表) / (052)212-3200(調査相談)

URL <http://www.aichi-pref-library.jp>

携帯サイトはこちら >>>

